令和７年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号（１２７）　学校名　　豊田市立藤岡南中学校

１　テーマ

自ら地域とつながり、地域とともに生きる

２　ねらい

目指す生徒像である「広い視野と心をもち、よき地球市民として主体的に行動できる生徒」を育成したい。そのために、具体的な目的・課題を生徒自身が設定できる場として、地域と関わる機会を設定する。その中で、見通しを立てて活動することで、生徒たちは自分ごととして役割に責任をもち、学校で学んだ力を活かして主体的に取り組むことができると考える。

３　活動内容

４月 ～10月	○フジバカマの育成（地域の活性化） アサギマダラを飛来させるためにフジバカマ園の管理・育成。環境委員の生徒が中心となって、観察や水やり。
５月	○ホタル飛来に向けての活動（地域の活性化） 環境委員では、地域の方と協力して西中山川にホタルを増やすためにホタルの幼虫の餌となる「カワニナ」を学校で育成し、放流。
１０月	○ふれあいフェスティバルでの発表等（地域と連携） ・防災に関する体験型ブースの設置。 ・魅力ある藤岡南地区について、来場者に様々な形態での披露。

４　成果と課題

保護者アンケートの「特色ある学校づくり推進事業を活用し、特色のある教育活動をおこなっているか」では、【保護者平均 3.2（4…とてもよい　3…よい　2…あまりよくない　1…よくない　0…わからない)】と前向きな結果が出ている。ホームページやきずなネットを活用し、日常の様子やおたよりが家庭に伝わるようにしていることが大きな一因であると考える。だが、【分からない】の項目が 7%と減ってはいるが若干気になる。保護者の立場で考えた情報提供を心がけ、今後の活動に対する理解を得たい。

今年度も、昨年度に引き続きアサギマダラの姿が目撃された。環境委員会が中心となって、４月当初から栽培育成を行ってきたフジバカマ園の管理を行ってきた成果であると考える。

校内整備員が配置されたことで手入れが行き届き、緑豊かに校地内環境を維持することができた。また、生徒が作業しやすいように道具置き場が整備されたことで、準備片付けにかかる時間が削減され、実質的な活動時間を増やすことができた。

５　保護者・地域への情報発信の取組実績

・フジバカマの育成やアサギマダラの飛来等、ホームページで適宜更新（計６回）した。
・学校だよりで、取り組みについて紹介（計７回）した。
・藤岡南ふれあいフェスティバルでは、特色ある学校づくり推進事業の取り組みについて、発表や体験ブースを通して、保護者や地域の方にも参観していただいた。